

特別展「比田井南谷～線の芸術～」 ご来館者の感想

○9月21日～25日分

臨・創がほどよい配分であり、基本と創作の発展が見られてよかった。

友人とふらりと寄りましたが、とても楽しめました。オリジナルフォントと干支のハガキもとてもかわいかったです。好きな作品にもあげた「論語」ですが、ハンカチ(手ぬぐい?)などにすると良いなと思いました。

字でもなく、絵でもない、唯そこに「在る」ことの意味を考えさせられました。

春日井市で育ちましたが、あまり土地のことを知らないまますごしてきました。この年になり、ここに来て色々な書と出会う中で、道風さんのすごさを感じます。

線の芸術を理解するためには、まだまだ修行がたりません。

創造性が誘発されました。

立体的な線の美しさに感動しました。

文字を書かない最初の人、その本物をリアルに見ることができて感動しました。

電の意味がわかり嬉しかったです。有難うございました。

書は芸術。原点をみられたようです。又、きます！！

いい機会をいただきました。一生をかけて書に取り組んだ先生の作品をみられて良かったです。後期も楽しみにしています。

この展覧会で初めて比田井南谷という書家を知りました。展示もとても面白く、年代よっての作品の変化も感じることができました。書道に対するイメージが変わりました。

銀座の画廊で見たものよりおもしろかった。臨書も面白い。

「書」を大切にしながらも「象」を生み出す過程がかいまみられた。その発想に共鳴するものがある。

鳥の子紙にアクリルを地塗りして古墨で書いていることが、やっとわかった！感動！来てよかった。

うーん、うん すてきすぎます♡

今までイメージしていた「書」と違って興味を持ちました。

南谷の予備知識なしに来て、びっくりしました。面白い。電線のフォントとか知りませんでした。館内ビデオがとても分かり易くて、とても良いなと思いました。自己主張って大事だなと。電のヴァリエーションの題名の意味が分かりました。後期も来ようと思っています。

書というものに触れたことがなかったので新鮮でした。

ふでを自由にあつかって文字以外でもつかえるなんてざんしん。

高校のころ、私の恩師から書と墨象を一緒にするなと言われたことがあった。南谷先生の作品を見たときもそのことばを思い出した。やはり前衛書を書くときも、古典を学ぶ大切さをあらためて知った。

空間の良さ思い知らされました。線のおもしろさ。

人柄の良い作品でした。

感動の一言です。今観ても斬新、当時はどれほどの衝撃だったのでしょうか。後期展にまた作品に会いに来たいと思います。

文字を書くのでなく心情表現が墨を通して感じられる作品でした。おもしろいですね。純な感情です。

いわゆる一般の書作品とちがい、とても興味のわくものばかりで、現代書に触れる良い機会でした。楽しかったです。触発されました。

線という形で文字を表現するおもしろさにふれた気がしました。

海外展のアーティスト、書家の混成作品、古い映像が楽しかった。

線（点）からの作品、書のイメージが無限に感じた。きりっとした表現にやわらかい表現と多彩。

「電のヴァリエーション」を数年前に美術館の資料室等で拝見して以来、1番好きな書作品で、影響を受けています。実物が見られて感動しました。

抽象書の原点を確かめられた。自分の考え方は間違っていないと自信を持てた。こんなに早くからいろいろ試していたんだ。後学は何とお粗末な事かと一。